

岐阜大学フェア2017



12月16日に岐阜大学フェア2017を開催しました。

12月16日（土）に、岐阜大学講堂、アカデミックコア、工学部講義室等を会場に「岐阜大学フェア2017」を開催し、約300名の方々にご来場いただきました。

今回はテーマを「学び、究め、貢献する岐阜大学-進伝考-」として、主に岐阜県内の高校生を対象に開催しました。

特別講演として、作家の鳴海風氏をお招きし、「江戸時代の数学『和算』の魅力」と題してお話いただきました。

アカデミックコアでは、パネル展示による各学部等の紹介のほか、学生による展示（学生フォーミュラによるマシン展示等）、工学部講義室では、森脇学長による「岐阜大学の現状と展望～受験生・保護者の皆さんへ～」をはじめ、各学部の先生方による専門分野に関する模擬講義が開講されました。また、講堂や図書館2階ホールなどでは、高校生や一般の方々が、日頃目にすることのない学生や留学生によるパフォーマンスや作品展示が行われるなど、様々な学生参加企画も催されました。



特別講演 鳴海風氏



模擬講義

学生企画

学生企画

12月16日(土)に、岐阜大学フェア2017と同日で、「宇宙工学講座閉講式」が開催されました。同講座は、COC+の高大連携事業の一環として実施し、昨年度に引き続き県内高校生等(16校)が受講しました。閉講式では、和歌山大学の秋山演亮教授による講演「これからの宇宙開発～君たちが創る世界～」をはじめ、受講生による活動報告が行われた後に、修了者に修了証が授与されました。



同じく12月16日(土)に、岐阜大学フェア2017と同日で、ぎふCOC+事業推進コンソーシアム主催成果発表会が全学共通教育棟多目的ホールで開催されました。参加大学(岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学)の学生らによるインターンシップやサマースクールなどに関する今年度の成果発表があり、大学を超えた学習成果の共有と受入企業等に向けての成果の発信ができました。



第9回ぎふフューチャーセンターを実施しました。

12月9日(土)に、多治見市ながせ商店街において第9回ぎふフューチャーセンターを開催しました。今回のフューチャーセンターには、大学生や地域の方に加え、地元の高校に通う高校生13名が参加し、終始明るく賑やかな中、対話が行われました。ながせ商店街の印象を出し合った後、ながせ商店街にある空き店舗が今後どのように活用され、どのような役割を果たしていくと良いかを話し合いました。参加者の方々にとっては、地元に住んでいたり、通学していても意外に知らなかった多治見の良さを再発見したり、地域について考えていただくいい機会になりました。



全共科目「自己省察と将来のキャリア設計」の成果発表会が行われました。

1月29日(月)に、次世代地域リーダー育成プログラム・産業リーダーコースの指定科目である「自己省察と将来のキャリア設計」の受講生による成果発表会が行われました。受講生たちは、講義を通して学んだこと、議論・考察したことをポスターセッション形式で各グループで発表を行いました。受講生は、互いに発表し合いながら、活発に意見交換し学びを深めることができました。



Event Information

URL:<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/>

【2018/2/13(火) 13:30~17:00】

次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目・成果発表会

会場：全学共通教育棟多目的ホール

岐阜大学・次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目である「地域リーダー実践(上級)」と「産業リーダー実践」の受講生が、地域や企業の課題解決に向けて取り組んだ成果を発表します。